

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪府吹田古江台第4期高層住宅	階数	地上8F
建設地	吹田市古江台3丁目119-226、4丁目	構造	RC造
用途地域	市街化区域	平均居住人員	334 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年7月 予定	評価の実施日	2018年6月29日
敷地面積	8,393 m ²	作成者	大西
建築面積	856 m ²	確認日	2018年7月2日
延床面積	5,149 m ²	確認者	浦田

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30% ★★★★★ 60% ★★★★★ 80% ★★★★★ 100% ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 68% (92 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 68%

④上記+ 68%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	集会所と一体となる広場を設置することによって、周辺地域に開かれた充実した沿道空間の形成を図り、現状の豊かな緑を整備し緑化率30%以上として緑環境を充実させた。	その他 0
Q1 室内環境	建築基準法規制外となる建築建材F☆☆☆☆を全面的に採用している。	Q3 室外環境(敷地内) 透水性アスファルトの使用。緑化率30%以上を確保した。
LR1 エネルギー	燃焼系瞬間式給湯器の使用した。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出量が76%
Q2 サービス性能	手摺、スロープを設置している。	
LR2 資源・マテリアル	内装パネル材の使用で躯体と仕上げ材が容易に分別可能。有害物質を含まない材料F☆☆☆☆の使用。ハロゲン消火剤を使用しない。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0050

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	大阪府営吹田古江台第4期高層住宅新築工事(第2工区)							
	建設地	吹田市市古江台3丁目119-226、4丁目119-7一部							
	用途/区分	集合住宅							
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+					
①	CO2削減			4					
②	みどり・ヒート アイランド対策			3					
③	建物の断熱性			3					
④	エネルギー削減			3					
⑤	自然エネルギー直接利用			○					
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—

エネルギー消費量の報告

対象外

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.5	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	3
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.3	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		